

備 風

BI

FU

2014・9月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.42

掲示板（事業活動）

岡山県環境整備事業協同組合青年部総会

平成26年 5月16日 岡山市北区 シティーホテル厚生町

5月16日、県内各地から24名の青年部員が集い第39回通常総会が盛大に開催された。益本麻衣（㈱邑久環境整備事業所）が司会を務め、妹尾青年部長（㈱三美産業）が、青年部一人一人の日頃からの環境事業への尽力に感謝の思いを伝え、今年度から実施する小学生を対象とした水循環に関する環境教育事業に対する協力と積極的な参加を呼びかけた。

続いて、来賓の乗藤理事長（㈱クリーンサービス・イバラ）があいさつを行い、「岡山県青年部の事業に対する意識の高さを誇りに思う。」と歓びを語り、「これからも青年らしい発想で、失敗を恐れず、様々なことに挑戦していただきたい。」と絶大なる期待を寄せた。

そして、吉岡隆司（新見環境㈱）を議長に議事を進行し、滞りなく可決承認された。また、今回は役員改選も行われ、妹尾部長を留任とし、新しく松本宏行（㈱和気環境サービス）を副部長に据えた人事が決定された。最後に、甲田光昭（㈱新生）の発声の元、総会スローガンとして『青年部活動の強化、教育活動の強化、社会貢献活動の実施、最新技術の習得』を皆で確認した。

最後に、牧副部長（㈱十字屋）が閉会の挨拶を行い、「ユーモアを交え、学ぶことの大切さ、そしてお客様への今まで以上のサービスの充実を。」と呼び掛けた。

総会終了後、懇親会を持ち、胸襟を開いて語り合い親睦を深めた。岡山県青年部の更なる発展を約し合う素晴らしい総会となった。

藤田清弘



岡山県環境整備事業協同組合総会

平成26年 5月26日 岡山プラザホテル

第57回通常総会は、組合員総数69名のうち、50名（委任状出席14名）が出席し開催された。総会開催に当たり、物故者に対する黙とうが捧げられた。司会者の渋江事務局長が開会を宣し、通常総会が定足数に達している旨を告げ、山田理事を議長に選任した。議事録署名人には、金本理事、近藤理事が任命され、議事へと移った。第一号議案「平成25年度事業報告の件」、第2号議案「平成25年度収支決算及び監査報告承認の件」では渋江事務局長による説明が行われ、桑折監事による監査報告があり、審議の後承認された。つづいて第3号議案「平成26年度事業報告（案）決定の件」及び第4号議案「平成26年度収支予算（案）決定の件」についても、一括上程され満場一致で承認された。第5号議案「総会スローガン発表の件」では、妹尾青年部長の力強い宣言にて承認された。第6号議案「通常総会懇親会の件」では、満場一致で承認され、第7号議案「役員選任の件」では、各地区にそれぞれ分かれ協議し、新たな理事、監事が選出され議事が終了し、議長の解任で総会は終了し、続いて式典が行われた。県や市、関係団体など多数のご来賓の方々より祝辞を頂き万歳三唱で無事総会を終えた。引き続きご来賓を迎え懇親会が行われ、盛会のもとに閉会した。

甲元利也



平成26年度 全国環境連中国地区協議会総会・青年部総会

平成26年 6 月23日 島根松江市一畑ホテル

総会は参加者128名で開催され、中国地区協議会武市会長が挨拶を行った。島根県組合の米山二郎氏及び長谷川亮輔氏を議長に選出し、議案の審議を行った。事業計画では「地震・津波等の災害に強い浄化槽の早期整備の支援などの取り組みを進めることとしている。」等、今後も生活排水対策を推進し、特に良質な水環境の確保に向けて、①リサイクル事業の促進、②下水道整備等に伴う合理化（補償）対策、③単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換推進等の事業に積極的に取り組むこと等の確認を行った。



また野津理事長より会長に乗藤理事長（岡山県）、会長代行に大川理事長（鳥取県）、副会長に野津理事長（島根県）、華山理事長（山口県）が就任したことが報告された。

今回は50回記念として、環境省から中四国地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課長役田昌幸氏を講師にお迎えし、「一般廃棄物処理行政の現状と課題」と題して、講演を賜った。講演では、①循環型社会形成推進関係施策概要、②廃棄物処理関係施策概要、③し尿・浄化槽関係施策概要、④東日本大震災からの復旧復興、⑤巨大災害発生時における災害廃棄物対策の5項目について説明を頂いた。

また、中国地区協議会総会に先立ち、中国地区青年部総会も同会場で行われ、全ての議案が満場一致で可決承認された。今季は役員改選も行われ、協議会青年部長は岡山県の妹尾芳訓氏から鳥取県の岡村真充氏への人事変更があった。

本総会終了後、多数のご来賓を迎え、式典を開催した。式典では優良役員、優良従業員の表彰が行われ、武市会長から表彰状及び記念品が授与された。

懇親会では会員同士が旧交を温めるとともに情報交換が行われ、滞りなくすべての行事が終了した。

松本宏行

モアコンパクト型浄化槽講習会

平成26年 7 月11日 組合事務所

公益財団法人日本環境整備教育センターの主催による新型浄化槽の講習会が実施された。

講習会は中国5県より137名の受講者があり、年々増加するモアコンパクト浄化槽に対する意識の高さを感じさせた。

講習会は佐々木理事の挨拶により開講式が行われ、東日本大震災では仮設住宅に浄化槽が1500基以上設置され、大きく活躍したことや、阪神淡路大震災でも致命的な浄化槽はほとんどなかったことなどを挙げ、「災害に強い浄化槽」という紹介があった。また、「今後の超高齢化社会に向けて、古い下水道の維持管理など、污水处理構想の見直しを求めている」と、インフラ整備への課題を挙げた。



次に開催県を代表し、岡山県の乗藤理事長による挨拶が行われ、まず、台風8号により被災された方へのお悔やみの言葉があり、「本講習で保守点検と清掃の新しい知見の習得をし、業界や地域からの信頼を得るように。」と激励の言葉があった。

その後、講習会へと移り、調査・研究グループ グループリーダーの仁木氏より、平成22年より普及し始めたモアコンパクト型浄化槽の KTG 型、CF 型の技術内容および適正な維持管理、技術技能の向上についての説明があった。モアコンパクト型浄化槽は以前の浄化槽と比べ、小容量・小型化を進めたタイプであるが、構造や配管の複雑さにより、より高い維持管理技術の習得が求められることから、研修における受講者の熱心さも伝わってきた。

講習会終了後は、修了式を行い受講者全員に公益財団法人日本環境整備教育センターより受講証が交付され、今後の維持管理へ向けた励みに繋がることを期待できる内容となった。

甲田光昭

行事予定

平成26年 8月7日	全国環境連中国地区協議会第3回理事会（岡山市）
8月25日～9月6日	第10回浄化槽管理士講習（岡山市）
9月16日	全国環境連第3回理事会（栃木県）
	全国環境連青年部部長会議（栃木県）
9月17日～18日	平成26年度全国浄化槽技術研究集会（埼玉県）
9月22日	組合第3回理事会・常任会（組合会議室）
10月10日	全国環境連第12回全国大会（栃木県宇都宮市）
11月18日	全国環境連第4回理事会（大分県）
	全国環境連青年部研修会（福岡県）
12月4日	全国環境連中国地区協議会第4回理事会（岡山市）
12月9日	組合第4回理事会・常任会（組合会議室）
平成27年 1月14日	全国環境連第5回理事会・新春懇談会（東京）
1月30日	全国環境連中国地区協議会第5回理事会（岡山市）
2月6日	組合新年会・第5回理事会・常任会（岡山市）
3月11日	全国環境連第6回理事会
3月17日	組合第6回理事会・常任会（組合事務所）
3月30日	全国環境連中国地区協議会第6回理事会（岡山市）

シリーズ第39回 水とくらし

「社会システムにおける水インフラについて」

藤村 正太郎

ここ数年世界的に水災害が深刻な問題になっている。我が国でもまだ記憶に新しい広島県で起こったゲリラ豪雨による土砂災害など、各地で河川の氾濫や土砂崩れ、台風による高潮などが起こり、甚大な被害をもたらすようになった。国交省のデータにも示されているが、最大の原因は地球温暖化による気温の上昇、海水面の上昇があげられている。1986年から2005年を基準とした2081年から

2100年における世界平均地上気温の変化は+0.3～4.8℃、世界平均海面水位の上昇は0.26～0.82m上がる可能性が高いとされている。

このような原因で、降水量の増大や局地的な短時間強雨、台風の大規模化に伴う高潮災害による水インフラの被災のために水供給が停止する可能性があり、さらには海面上昇による沿岸部の地下水の塩水化や、河川の塩水遡上による取水障害、気温・水温上昇に伴う生態系の変化、媒介動物の生息域の変化による感染症の拡大など、水の安全面に悪影響が懸念される。

とりわけ水資源分野において水は、人の生命、経済活動の麻痺などの重大な事態にかかる極めて重要な資源である。大規模災害等のリスクへの水インフラの脆弱性を踏まえ、機能するように、「個別要素（個別最適）」と「全体システム（全体最適）」の両立を目指し、何が起きても動じずに安全・安心を実現するシステム、すなわち実現化としては「幅を持った社会システム」を目指して取り組むことが求められている。

活 動 報 告

26. 3. 5	全国環境連事務局長会議（東京）	5. 23	岡山県浄化槽施工協同組合通常総会出席（岡山市）
3. 13	全国環境連第6回理事会（東京）	5. 26	平成25年度組合総会（岡山市）
3. 14	岡山県浄化槽施工協同組合研修会（岡山市）	5. 27	広報全国環境連5月号発行
3. 18	平成26年度本州四国高速道路㈱入札	6. 5	全国環境連中国地区協議会第1回理事会（岡山市）
3. 19	全国環境連中国地区協議会理事会（岡山市）	6. 6	（公財）岡山県環境保全事業団評議員会（岡山市）
3. 19	平成25年度本州四国連絡高速道路㈱水質管理業務入札（岡山市）	6. 12	全国環境連通常総会・理事会（東京）
3. 20	（社）岡山県浄化槽団体協議会総務委員会（岡山市）	6. 13	（一社）岡山県浄化槽団体協議会総会（岡山市）
3. 24	西日本高速道路㈱入札（広島市）	6. 19	西日本高速道路㈱中国支社訪問（広島市）
3. 26	組合第6回常任会・理事会（組合事務所）	6. 23	平成26年度全国環境連中国地区協議会総会・第2回理事会（松江市）
3. 27	岡山高速道路事務所管内浄化槽水質検査単価契約（岡山市）	6. 25	岡山県中小企業中央会総会（岡山市）
4. 25	広報全国環境連4月号発行	6. 27	広報全国環境連6月号発行
5. 2	全国環境連平成25年度監事監査（東京）	7. 4	岡山県高速道路交通安全協議会（岡山市）
5. 2	平成25年度組合会計監査（組合事務所）	7. 7	臨時常任会（組合事務所）
5. 13	組合第1回常任会・理事会（組合事務所）	7. 11	モアコンパクト型浄化槽講習会Ⅰ開催（組合事務所）
5. 14	全国環境連第1回理事会（東京）	7. 16	全国環境連第2回理事会（東京）
5. 20	岡山県知事表彰受賞（岡井美幸氏）、岡山県環境文化部長表彰受賞（柏村正勝氏、石原恵一氏）	7. 23	組合第2回常任会・理事会（組合事務所）
5. 21	西日本高速道路㈱・本州四国連絡高速道路㈱契約（組合事務所）	7. 25	広報全国環境連7月号発行
		8. 7	全国環境連中国地区協議会第3回理事会（岡山市）

編集後記

浄化槽保守点検記録表、浄化槽清掃記録表を活用して顧客への説明責任を果たし、顧客満足を達成し、適正業務に邁進しましょう。



BIFU

Vol.42

発行日	平成26年9月22日
発行	岡山県環境整備事業協同組合
編集	機関紙担当理事 寺尾 邦弘
住所	岡山市南区山田290-2
tell/fax	086-282-6455/086-282-6685
E-mail	okakan01@poem.ocn.ne.jp
印刷	㈲A Pプランニング